

# 日刊

THE NIKKAN

# 工業

KOGYO SHIMBUN

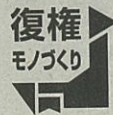
# 新聞

10月12日 月曜日

2015年(平成27年)

## 住宅用耐震パネル増産

### コーチ、浜松市に新工場



【浜松】コーチ(浜松市天竜区、大畑勝裕社長、0533・985・0311)は、住宅用耐震パネルを増産する。2016

年春をめどに、浜松市浜北区に新工場を稼働、生産能力を現在の3倍の月産約120棟分に引き上げる。投資額は約10億円。木材加工技術に応用した独自製品を事業の柱に育成する方針だ。

増産する住宅用パネル「コーチパネル」は、木製の枠と断熱材などが一体となった構造。柱や梁などの建物構造フレームにはめ



新工場は敷地面積約5600平方メートル。パネル工場のほか、物流倉庫や事務所棟で構成する。立地は新東名高速道路の浜松浜北インターチェンジに近く、物

かし取引先の海外シフトが進むとの判断から、内需を見込める自社製品の開発に着手。社会的な防災意識の高まりを背景に、住宅用パネル事業に参入した。

コーチパネルの製造では木材加工技術と金属加工のノウハウの両方を生かし、枠の組み立て機やクギ打ち機を独自に開発。工程の自動化を進め品質を安定させた。

伊藤忠建材(東京都中央区)やポラテック(埼玉県越谷市)とも販売協力し、全国へ拡販していく。従来工法の2倍以上の耐力を持つコーチパネル